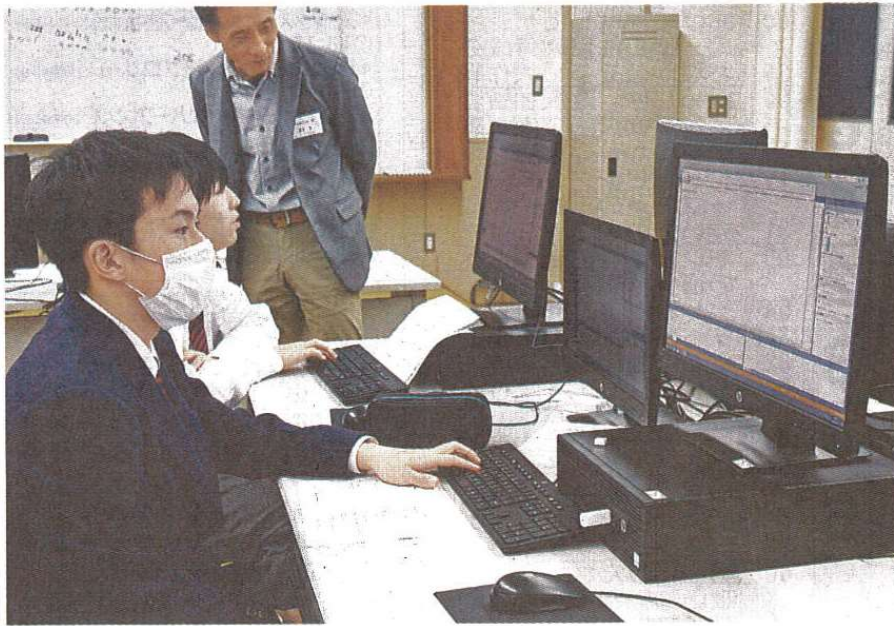


未来のエンジニアへ

田辺工業高 プログラミング講座



エンジニアの根来研さん(右)からプログラミングのアドバイスを
受ける生徒＝田辺市あけぼの

田辺市あけぼのの田辺工業部「の生徒や校内で募った受
高校で、「コンピュータ応用 講希望者が、エンジニアから

プログラミングを教わる講座
があった。

県が中学校、高校の部活動
にプロのエンジニアを派遣
し、高度なプログラミング教
育を受けてもらう「きのくに
ICT(情報通信技術)教育」
事業の一つとして開かれた。

田辺工業高では、本年度内
に3回の講座がある。講座で
は、パソコンのソフトウェア
「ウィンドウズ」上だけでな
くスマートフォンアプリの
開発もできるプログラミング
言語「C++」を勉強してい
る。生徒から学びたいとい
う要望があったからという。

講師は半導体の検査装置や
さまざまな試験機器を開発、
販売している会社「阪和電子
工業」(和歌山市)で定年退
職後に嘱託職員として働いて
いる根来研さん(61)。

2回目の講座には、生徒7

人が参加。前回習った「C++
」の基礎をおさらいした後、
キーボードの特定のキーを押
すと実行画面の文字が動くよ
うにプログラミングを組ん
だ。生徒は根来さんからアド
バイスを受けたり資料を見たりしながら、黙々とパソコン
に命令文を打ち込んだ。

「コンピュータ応用部」
の1年、玉置智也君(16)は
「元々プログラミングに興味
があり、自分でやってみたく
ともあった。今回習ったこと
は授業でも生かしたいし、
将来はプログラミングがで
きるようになりたい」と話し
た。

根来さんは「皆キーボード
を打つのが速く、講座もさ
くさく進んだ。この中から
未来のエンジニアが出てきて
ほしいと思う」と期待を寄
せた。